

## ① 経営体の概要

- 所在地：長崎県諫早市
- 経営体名：打越園芸 打越剛隆
- 栽培作物：輪きく(100a)  
採種メロン(30a)(統合環境制御未導入)
- 従業員数：家族4人、非常勤1人、実習生(中国)5人

## ② 導入技術・システム(商品名・サービス名と企業名)

- 統合環境制御盤(MC-6000)
- 炭酸ガス発生機(CG-854T2)
- ヒートポンプ(NGP104T-G)
- 自動換気装置
- 二重カーテン
- 自動灌水

(※ すべてネポン(株)製)

## ③ 導入の経緯

- データが見える化し、生産性向上を図るため、統合環境制御を導入。

## ④ 導入に当たり活用した補助事業等(国、県)

- 次世代施設園芸拡大支援事業(国)
- 耐候性ハウスは、平成16年度に「経営構造対策事業」、平成24年に「強い農業づくり交付金」を活用。

## ⑤ 導入してどうだったか(その1 導入前との比較、効果)

- 積算温度を把握することで開花時期が予測できるようになり、出荷するための管理計画が立てやすくなった。
- 密植しても2L(最上位等級)率がアップするとともに、需要に応じた草丈に栽培できるようになった。
- 「白サビ病」の発生が抑えられ、消毒の回数も減少した。

## ⑥ 導入してどうだったか(その2 改善してほしい点、課題)

- 若い農家に普及するためにも、もう少し安価にしてもらいたい。
- 同じ環境制御の機械を導入している農家同士での情報交換や交流により、一層の改善につながることを期待する。

